

化学委員会 IUCr 分科会（第 24 期・第 3 回）・物理学委員会・化学委員会合同結晶学分科会
（第 24 期・第 3 回）合同分科会事録

日時：令和元年 5 月 29 日 10 時 30 分～11 時 30 分

場所：分子科学研究所 研究棟 2 階 201 号室

出席者：阿久津典子[†]、上村みどり^{†,*}、栗原和枝^{†,*}、小島優子[†]、小林昭子[†]、菅原洋子^{†,*}、西野吉則^{†,*}、高原淳^{†,*}、森吉千佳子[†]、山縣ゆり子[†]

欠席者：井上 豪^{†,*}、奥部真樹^{†,*}、黒田玲子^{†,*}、佐々木 園[†]、菅原 正[†]、村上洋一[†]、森 勇介^{†,*}、高田昌樹^{†,*}、

（[†]結晶学分科会委員、*IUCr 分科会委員）

議題：

1. 前回の議事録の確認

化学委員会 IUCr 分科会（第 24 期・第 2 回）・物理学委員会・化学委員会合同結晶学分科会（第 24 期・第 2 回）合同分科会議事録（案）の確認を行った（資料 1）。

2. 化学委員会 IUCr 分科会

① IUCr Comission Member 推薦について：

菅原 IUCr 分科会幹事より、IUCr Comission Member 推薦の準備が進みつつあること（資料 2）、また、IUCr の分野別のジェンダーバランスに配慮して、女性の委員候補の推薦を行いたい旨の説明があった。

② W. H. & W. L. Bragg Prize について：

IUCr2020 より、W. H. & W. L. Bragg Prize が新設される（IUCr2017 での決定事項）。Bragg(子) が 25 歳で、ノーベル賞を受賞したことにちなみ若手育成支援を目的としており、学位取得から 10 年以内の若手研究者を対象とする（資料 3）。菅原 IUCr 分科会幹事より、まもなく推薦が始まるので、積極的に推薦を考えてほしい旨の依頼があった。

③ IUCr2020 国際プログラム委員会（IPC）の活動について：

5 月に IPC が開催され、PL、KN、MS などが決まったことの報告があった。日本の貢献を高めるために今後どのような対応が必要かについての意見交換が行われた。

3. 物理学委員会・化学委員会合同結晶学分科会

① マスタープランについて：

現在、書面審査が進んでおり、9 月にヒアリングが開催されることが報告された。

② 「情報科学との融合による新化学創成」提言について

2019.5.27 現在の提言（案）が示され（資料 4）、前回の分科会での要望が反映されたことを確認した。

③ 今後の活動について：

Cryo-EM および MicroED が急速に展開している（資料 5）。昨年 12 月秋に開催された

AsCA2018 でも大きく取り上げられており、結晶学分科会としては、世界にキャッチアップするように進めるべきである。MicroED について KEK 千田俊哉氏（本件に対応できる電子顕微鏡を管理）、大阪大学栗栖源嗣氏（AsCA 評議員）などに問い合わせるべきこと、また、来年度の日本結晶学会年会の特別企画として検討する等の意見がだされた。

4. 次回の開催予定

2019 年 12 月 26 日に化学委員会合同分科会を開催の予定。

配布資料

- 資料 1 化学委員会 IUCr 分科会（第 24 期・第 2 回）・物理学委員会・化学委員会合同結晶学分科会（第 24 期・第 2 回）合同分科会議事録（案）
- 資料 2 IUCr 分野別委員会委員推薦資料
- 資料 3 W. H. & W. L. Bragg Prize 資料（IUCr NewsLetter）
- 資料 4 「情報科学との融合による新化学創成」提言（2019.5.27 現在案）
- 資料 5 MicroED による低分子解析にかかわる参考文献（ACS Cent. Sci., 4, 1587(2018).）

以上